

令和元年12月、武漢から始まった新型コロナウイルス感染症は、多くの医療機関のエネルギーを奪うことになりました。特別措置法に基づく緊急事態宣言が出され、緊急性のない消化器内視鏡診療の延期・中止が推奨されています。救急車受け入れを断られるケースも増加しており、救急医療が大きく混乱しています。一方、緊急対応が必要な消化管救急には、感染予防策を行って的確な医療を提供しなくてはなりません。

本特集は、明日遭遇するかもしれない対応困難な症例を意識した内容になっています。出血点の同定が困難な下部消化管出血より、多くの治療法が開発された上部消化管出血の死亡率が高いことから、改めて消化管出血治療の難しさがうかがえます。心窩部痛症例の造影CTで描出される心筋梗塞には度胆を抜かれます。難治性S状結腸憩室炎の注腸造影はapple-core signとしか見えません。内ヘルニアの画像には、肝を冷やされた症例の顔が思い浮かびます。腹膜刺激症状なく帰宅させた症例が救急車で再来すると、非閉塞性腸間膜虚血症と診断された経験のある先生も少なくないと思います。血管性浮腫は、救急外来で想起し、ぜひC4を測定してみたいものです。抗血栓薬服薬中の消化管出血は、休薬後の再開時期がきわめて悩ましい問題です。与えられた環境や条件だけでは計算の答えを導くことができない問題は、不良設定問題といわれますが、抗血栓薬服薬の中断と再開はまさに不良設定問題です。今回は多くのガイドラインから要点を掲載していますので、先生方がタイミングを決定する参考になれば幸いです。省略しがちな直腸診を中心とした排便障害の臨床推論は、画像診断に頼りがちなわれわれにとって、目から鱗の内容になっています。ぜひお読みください。

最後に皆様が本号を手にしていただくとき、通常診療が再開できていることを祈念して、編集後記とさせていただきます。

(東邦大学医学部総合診療・救急医学講座 瓜田 純久)

臨牀 消化器内科® Vol. 35 No. 6

©2020年5月20日発行

定価(本体3,000円+税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-12-8 電話 03-5226-2791